

チェコ共和国 IRO 公認国際救助犬試験レポート

2007年5月12.13日、チェコ共和国ジャテツ市にてIRO公認の救助犬試験が行われました。オランダ、ルーマニア、ドイツ、スロバキア、スロベニアなどの国々からの90を超える参加チームにやはりヨーロッパ諸国の救助犬に対する熱心さがうかがわれ、オランダ、イタリア、日本から私の3人の国際審査員意外に急きょ2人のチェコ国内審査員が招集されなんと2日間で終了することが出来ました。



大会受付



瓦礫搜索 A 会場、2 回部分を搜索中の
ニューファンランド犬



中はこんな感じ



作業終了と講評



マリノワの出発前説明



瓦礫搜索 B 段階会場、全体では100M 四方はゆうにある壮大な瓦礫現場



見事 B 段階合格の黒ラブとドイツ語からチェコ語への通訳の方



ドイツからの参加者 服従



群集内行進は必ず犬が混じる

(感想)

海外で行われる救助犬の国際試験に日本人の審査員として今回初めて派遣されました。たどたどしい外国語で一頭ずつ行う講評にはもちろん苦勞し極度の緊張を伴いましたが、受験されたすべての方々は私の言葉一つ一つ真剣に耳を傾けてくださり、時々笑顔を交えながら（惜しくも合格出来なかった方も含め）素晴らしいスポーツマンシップと同じ目的のために活動している者同士の絆や思いやりをつくづく感じました。

日本国内、或いはアジア周辺に於ける救助犬団体も少しずつ増え続けていますが、この先私たちに最も大切なことは、このような絆をより結束させてお互い協力し、ヨーロッパに負けない環境を整備することだと強く感じました。

IRO 国際救助犬連盟審査員 OPDES 理事

澤田 和裕